

次世代燃料エンジン向け

点火システムが完成

ダイヤモンド
H D

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス(HD)は、アンモニアなど次世代燃料エンジンに用いる「超高エネルギー点火システム」の試作品Ⅱ写真Ⅱが完成し、評価用実機の受注を始めたと発表した。安定燃焼させるため、個別点火を含むマルチ点火などの多様な点火パターンを出

力し、出力エネルギーで世界最大級となる最大700リットルを実現した。自動車のほか、農機や船外機などのエンジンメーカーと開発を進め、2026年の実用化を目指す。開発した点火システムは、2つのコイルを使用し、駆動するコイルの数や動作タイミ



ングをずらすことで、出力エネルギーを変えられる。アンモニアは燃焼速度が遅く、始動時や回転域によっては、実際に耐える性能を満たすことが難しいとされてきた。試作品では、運転領域に応じて3

つなげた。アンモニア燃料だけではなく、さまざまなリーンバーン(希薄燃焼)エンジンの性能向上にも貢献するとして、エンジンメーカーへの提案を進めていく。

00リットルから700リットルまで、出力エネルギーを調整することで安定燃焼に